

区分	評価指標	H25実績	H26実績	H27実績	前年度比	図書館運営全体	
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価
	資料購入費:決算数値(千円)	49,092	48,112	49,072	1.02	・中央図書館の貸出点数、登録者数、入館者数は減少傾向にあるが、全館・全室の傾向に比べると減少幅が大きいので、中央図書館以外の図書館の充実により、図書館利用が分散していると思われる。	・中央図書館以外の図書館の充実により利用が分散しているとしたら、これはよい傾向と思われる。 ・オンラインの活用により各地区の図書館の利用が増えるのはむしろ好ましいと思う。中央図書館は中心館として蔵書の充実にも努めたい。 ・自己評価は的確だと思われませんが、中央は駐車場が有料であることの影響もあるのではないかと。 ・全体の目標数値が把握できない。 ・実績として減少傾向にあるものは現在のところ問題はないように考える。分析としては新潟県立図書館の増加もあげられるのではないだろうか。 ・数字にとらわれず、長いスパンで取り組んでいただきたい。職員の増えない中で、よく健闘されていることを評価する。 ・貸出冊数に目が行きがちだが居心地のよい図書館を目指してほしい。 ・催し物の機会等を利用し、新規登録者を増やすチャンスを作る必要がある。 ・オンラインで中央図書館の本を他の図書館で借りられると考えれば、数値にこだわる必要もないかもしれない。
	蔵書点数(点):図書・AV	427,169	437,487	450,959	1.03		
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	1,280,257	1,257,356	1,214,240	0.97		
	個人の登録者数(人)	47,297	47,203	44,213	0.94		
	(内新規登録者数)	5,823	5,939	5,039	0.85		
入館者数(人)	645,640	630,912	613,012	0.97			

区分	評価指標	H25実績	H26実績	H27目標	H27実績	自己評点	H28目標	評価(次年度への展開)	
施策・事業(各図書館)	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」							自己評価	外部評価
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	26,804	25,835	25,850	26,441	3	26,500	・レファレンス件数は、積極的なフロアワークやサービスの周知が前年度からの2%増につながった。	3 大変評価する。43% 2 ある程度評価する。57% 1 評価できない。0%
	個人予約件数(件)	137,670	138,368	140,000	142,452	3	143,000	・ビジネス支援サービス相談件数は、前年度比15%減となった。詳細を見ると、市内からのレファレンス件数は伸びたが、一般利用者からの件数が減少した。今後はカウンターでの声かけを積極的に行い、機会を捉えてPRに努める。	・レファレンス件数の増加率アップを期待する。 ・利用者の年齢層が固定されていないか。 ・目標数値を掲げることに若干の疑問あり。 ・予約を増やすことで、出版業界を圧迫しないか、思うところあり。 ・ビジネス支援サービスをなぜするのか分からない。減少についても原因を分析してほしい。 ・一般利用者にはレファレンスを分かりやすく再度提案してほしい。 ・レファレンス件数や個人予約件数の増加は、市民の図書館利用能力が高まっていることを表しており好ましい。 ・専門性が問われることで職員も向上する。レファレンスについて広報活動が必要。
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	347	377	380	321	1	330		3 大変評価する。57% 2 ある程度評価する。43% 1 評価できない。0%
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」							自己評価	外部評価
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	36,920	37,834	38,000	39,058	3	40,000	・積極的に郷土資料の収集に努め、郷土・行政資料の蔵書冊数が増加した。	・行政のイベント情報や民間のサークル活動など、幅広く情報を得るためのシステムづくりが大切。 ・公民館等の連携・協力の更なる展開を望む。 ・郷土資料の収集には、なお力を入れてほしい。 ・職員派遣は事業周知を図る好機なので拡大に努めてほしい。 ・図書館の役割には、現在進行形のサービスに加えて、知識や資料を蓄積して将来の要求に応えるという事もある。今すぐ利用に供しないからといって無駄な事ではない。 ・郷土資料・行政資料の蔵書構築は市民に身近な図書館として最も期待するところなので、展示や広報の工夫をして貸出増加につながるようしてほしい。 ・蔵書の収集だけでなく、専門知識を持った人たちのネットワーク作りが大切。専門家も育ち、市民も知的な活動ができ、それが図書館の役割であり夢だと思う。
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	8,636	8,729	8,800	8,049	1	9,000		3 大変評価する。57% 2 ある程度評価する。43% 1 評価できない。0%
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	1	3	—	1	—	3	・貸出冊数は、前年度比8%減となった。テーマ展示で郷土資料を積極的に活用するなどして、利用につなげていきたい。	・「小・中・高」は別々にデータを出せないだろうか。学校における図書委員会(委員長)を対象とした企画も欲しいところ。 ・学校への貸出冊数はH27実績数値がなく、自己評価もないが、年々確実に増加している。学校現場に役立っていることの一つの証と考えられる。 ・特に小学校へ、要望がなくても積極的に学校支援(訪問・状況把握)をしてほしい。 ・職場体験の日程調整は難しいと思われるので、子どもの日程より図書館側の日程を優先することでやむを得ないだろう。 ・各関係機関との連携を密にしてほしい。関係を無から有にしてほしい。 ・夏休み、冬休みの職場体験で、図書館とまともに関われるような施策を考えてほしい。 ・とにかく、図書館に子どもが来館する手立てをたくさん工夫してほしい。一番の手立ては、本の面白さを体験し、授業に生かすことができる教員を増やすことなので、市教委を通して、教員へ読書指導、図書館活用の研修機会を強化してほしい。
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	—	—	—	20	—	20		3 大変評価する。46% 2 ある程度評価する。54% 1 評価できない。0%
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」							自己評価	外部評価
	児童書の貸出冊数(冊)	236,313	234,633	235,000	236,738	2	237,000	・子ども・親子対象事業の参加者数の減少は、子ども・親子を対象とした展示会の実施回数が前年度より少なかったこと、西内野地区図書館の読み聞かせ参加者数のカウントが中央から坂井輪へ移ったことが理由。	・「小・中・高」は別々にデータを出せないだろうか。学校における図書委員会(委員長)を対象とした企画も欲しいところ。 ・学校への貸出冊数はH27実績数値がなく、自己評価もないが、年々確実に増加している。学校現場に役立っていることの一つの証と考えられる。 ・特に小学校へ、要望がなくても積極的に学校支援(訪問・状況把握)をしてほしい。 ・職場体験の日程調整は難しいと思われるので、子どもの日程より図書館側の日程を優先することでやむを得ないだろう。 ・各関係機関との連携を密にしてほしい。関係を無から有にしてほしい。 ・夏休み、冬休みの職場体験で、図書館とまともに関われるような施策を考えてほしい。 ・とにかく、図書館に子どもが来館する手立てをたくさん工夫してほしい。一番の手立ては、本の面白さを体験し、授業に生かすことができる教員を増やすことなので、市教委を通して、教員へ読書指導、図書館活用の研修機会を強化してほしい。
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	22,743	24,933	—	29,133	—	29,500	・子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	3 大変評価する。46% 2 ある程度評価する。54% 1 評価できない。0%
	子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	4,746	7,410	5,000	5,119	2	5,200	・職場体験の受け入れ人数は、希望日が重なり受け入れることができなかったため減少した。重複する時期は1校でも多く受け入れられるよう調整する。	・公民館だけでなく、幼稚園へも講師を派遣した。
	職場体験受入人数(人)	47	64	65	48	1	48		3 大変評価する。43% 2 ある程度評価する。57% 1 評価できない。0%
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	40	32	—	37	—	40		3 大変評価する。43% 2 ある程度評価する。57% 1 評価できない。0%
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	—	—	—	2	—	3		3 大変評価する。43% 2 ある程度評価する。57% 1 評価できない。0%
	市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」							自己評価	外部評価
	図書館ボランティア活動者数(延人数)	1,789	1,676	1,600	1,598	2	1,600	・江南区・西区のブックスタートボランティアの活動について、平成27年度からそれぞれ江南区・西区で所管することとなり、ボランティア活動者数が減少した。	・ブックスタート(新規)ボランティア講座が良かった。 ・ブックスタートボランティアの所管が各区になったことは望ましい。 ・全体的にボランティア人員が減少してきているので、交流会や情報交換を図ることを図る。ボランティアからも意見収集してほしい。 ・ボランティアに対しては、読み聞かせの方法的な講習だけでなく、趣旨や効果、意味などの啓蒙を指導することが大切。そして、学校や園に対しては、ボランティアとの活動の仕方、手順、配慮などの指導が必要。
	ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	59	45	45	47	3	50	・ボランティア交流会の持ち方を改善し、ボランティア同士の情報交換がしやすいように努めた。	・ブックスタート(新規)ボランティア講座が良かった。 ・ブックスタートボランティアの所管が各区になったことは望ましい。 ・全体的にボランティア人員が減少してきているので、交流会や情報交換を図ることを図る。ボランティアからも意見収集してほしい。 ・ボランティアに対しては、読み聞かせの方法的な講習だけでなく、趣旨や効果、意味などの啓蒙を指導することが大切。そして、学校や園に対しては、ボランティアとの活動の仕方、手順、配慮などの指導が必要。
	利用者の意見を把握する機会の設定(回)	3 (協議会3回)	4 (協議会3回、利用者懇話会1回)	3	3	2	3	※補足: H27ボランティア団体交流会参加者数 「中央・豊栄・白根の3団体交流会」に中央から10名 「読み聞かせ等ボランティアグループ交流会(全市対象)」に37名	3 大変評価する。43% 2 ある程度評価する。57% 1 評価できない。0%
共催・協働事業の実施件数(件)	—	—	—	44	—	45		3 大変評価する。8% 2 ある程度評価する。61% 1 評価できない。31%	
効率的・効果的な運営(職員)							自己評価	外部評価	
研修参加職員数(延人数)	183	195	185	153	1	160	・27年度は、専門的・実務的な研修へ積極的に参加したが、26年度に実施した全職員を対象とした内部研修を行わなかったため、目標を達成することができなかった。	・H28目標はやや低いのではないかと。 ・職員の大規模な異動があったようだが、担当事項の引き継ぎがなされていなかったと思う。 ・職員が職場で気付いた事を職場の関係者に伝えてほしい。 ・内部研修の充実に取り組んでほしい。 ・図書館をめぐる状況が年々変化しているため、研修の機会も重要である。どのような研修が有効か検討し、力を入れてほしい。	

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った